

帝塚山大学心理学部退職記念

山本隆宣教授 最終講義



からだところ、そして分子 —その仕組みの巧みさに学ぶ—

2017年3月7日(火) 16:00~17:30

帝塚山大学学園前キャンパス
16号館5階 16501教室

●山本教授より

1970年代にからだ（末梢）に存在するMonoamine(MA)類が脳（中枢）にもあることを知って自然に好奇心が芽生えた。特にDopamine (DA) はどんな働きをしてからだを支えているのか？という解明は研究者としての本格的なスタートとなった。DAは最終代謝産物（不可逆性）であるHomovanillic acidとなり生理活性を失うが Sulfate form（硫酸抱合型）にも代謝され、可逆的にFree form（遊離型）となって再利用できる逆働き反応も可能であることを私は世界で初めて明らかにした。この研究経験は超微量の生体分子の世界を正確に測る方法技術と観察力を身につけた。さらに興味はMA分子がところをつくりだしていることである。1980年代になって、恩師であるイギリスOxford 大学の生化学者Newsholme博士はSerotonin が脳神経性疲労感を生み出しているという魅力的な論文を世界に発表した。ではその前駆物質であるTryptophanがどのようなところの振る舞いをしているのか？これが私のライフワークとなった。物質と精神の関係を調べていくと偉大な自然界の仕組みを発見し、その巧みさに気づき、多くのことを教えてくれる。本当に自然はダイナミックでスマートである。

●退職記念パーティー

18:00~20:00 学園前キャンパス14号館食堂

会費：2000円（学部生・大学院生1000円）＊当日受付で頂戴致します。

発起人：帝塚山大学心理学部教員一同

お問い合わせ

教学支援課（心理学部） TEL: 0742-41-4720

